

成分・性状

種類名：フルポキサム・フルルプリミドール粒剤
有効成分：フルポキサム…0.5%
フルルプリミドール…1.2%
性状：褐色細粒

規格包装

3kg×2袋

安全性

人畜に対する安全性：普通物
(毒劇物に該当しないものを指している通称)

急性経口毒性(LD ₅₀ 値)	急性経皮毒性(LD ₅₀ 値)
ラット ♀>2,000mg/kg	ラット ♀>2,000mg/kg

水生生物に対する影響：

コイ(LC ₅₀ 値/96hr)	オオミジンコ(EC ₅₀ 値/48hr)
860mg/L	>1,000mg/L
緑藻 ^{#1} (ErC ₅₀ 値/0-72hr)	緑藻(NOECr/72hr)
985mg/L	170mg/L

(^{#1} : *Pseudokirchneriella subcapitata*)

適用場所及び使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用目的	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	フルポキサムを含む農薬の総使用回数	フルルプリミドールを含む農薬の総使用回数
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道、墓地、鉄塔、工場等	一年生雑草 多年生雑草	雑草の伸長抑制	雑草発生始期	15～30g/㎡	2回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面均一散布	2回以内	3回以内
		クズ		萌芽始期					

農薬使用上の注意事項

- 極端な乾燥条件での使用はさけてください。また、本剤は土壌処理剤で、効果発現のため雑草の根域に達する必要があるため、散布後にかん水することが望ましいです。かん水設備のない所では降雨前の散布が望ましいです。但し、降雨後の再散布はしないでください。
- 周辺の作物に影響を及ぼすので、かからないように注意してください。
- 他の作物を植え付ける予定のある土地では使用しないでください。また使用後の散布器具は十分洗浄してください。
- 公園、堤とう等で使用する場合、特に以下のことに注意してください。
 - 水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
 - 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、容器、空き袋等は環境に影響を与えないように適切に処理してください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には予備試験を行うか、または病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

- 使用前によくラベルを読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

株式会社ニチノ緑化

〔本社〕〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14番4号
岡谷ビルディング6階
TEL: 03-3808-2281 FAX: 03-3808-2360
〔大阪営業所〕〒562-0036 大阪府箕面市船場西2丁目1番11号
箕面船場センタービル11階
TEL: 072-727-8015 FAX: 072-727-8022
〔ホームページ〕<https://www.nichino-ryokka.co.jp/>



植物成長調整剤

フィールドセイバー[®]粒剤 フルポキサム・フルルプリミドール粒剤

その緑地をいつでも
綺麗に保つために

フィールドセイバー粒剤は、
雑草の伸長を抑える植物成長調整剤です。
雑草の発生始期に散布することで、
幅広い草種を枯らさずに
景観を維持することができます。

利便性の高い粒剤タイプ!

薬剤散布で大変なのは
調合と水の確保、そして飛散防止対策です。
フィールドセイバー粒剤は
そのまま散布可能な粒剤タイプなので、
飛散の懸念も少なく済みます。

®は日本農薬株の登録商標です。

株式会社ニチノ緑化

植物成長調整剤 フィールドセイバー[®]粒剤の特長

★植物を枯らすことなく草丈を抑制することで景観を維持することができます

除草剤とは異なり、生育している雑草の褐変や雑草が全て枯れて裸地になる等の現象が起こらず土壌流出を抑え、自然な景観を維持したまま雑草の草丈を抑制し、草刈回数の軽減にも繋がります。

★多年生つる性雑草クズに対して伸長抑制効果があります

クズが芽を出す初春の時期（萌芽始期）に散布することで、クズの伸長を抑制する効果があります。使用前に草刈り・集草がされているとより抑制効果を安定させることができます。

★相性の良い2成分により相乗効果があることが認められています

有効成分であるフルボキサムとフルルプリミドールは混合することで2成分が相乗的に働き、高い抑制効果を得ることができます。

★水・調合を必要としない粒剤タイプです

調合を必要としないため、水が確保できない・散水車がないといった現場や、小面積の緑地が点在したり構造物等の障害があるような現場でも手軽に散布できます。

フィールドセイバー[®]粒剤による草刈軽減・景観維持効果

（事例1）一年生雑草と多年生雑草が混在する緑地



散布日：2020年4月6日 調査日：2020年7月2日（処理87日後） 試験地：栃木県真岡市



（㈱ニチノー緑化自社試験）

（事例2）クズの群生と多年生雑草が発生している法面緑地



散布日：2020年6月19日 調査日：2020年9月29日（処理102日後） 試験地：埼玉県比企郡嵐山町



（㈱ニチノー緑化自社試験）

雑草の伸長抑制効果とは？

フィールドセイバー粒剤により、雑草は節間が短くなり、伸長が抑制されます。抑制された雑草は葉が小さく、緑が濃くなります。全ての雑草を枯らすことがないため、裸地になることはありません。

散布日：2016年9月9日
撮影日：2017年6月30日（処理294日後）
草種：イタドリ（多年生タデ科）
※2016年夏植え付け個体での試験
試験地：（株）ニチノー緑化 四街道技術センター

（㈱ニチノー緑化自社試験）



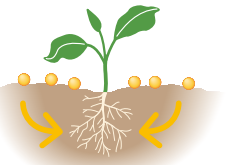
無処理



フィールドセイバー粒剤 30g/m²

散布適期と効果的な使い方

フィールドセイバー粒剤は、土壌に落ちた有効成分を植物が根等から吸収することで作用を発揮します。雑草が発生し始める（発生始期）時期や刈り込み直後が最適な散布タイミングとなります。



①早春や秋等の雑草が生育し始める時期



②越冬した雑草が伸び始める時期



③草刈後の雑草の再生が始まる時期



主要雑草に対する抑制効果

一般的な緑地にて雑草の草丈伸長試験を実施した結果、フィールドセイバー粒剤30g/m²を処理した場所に発生した雑草は、無処理に比べて平均して70％程度、草丈が抑制されていることが確認できました。



無処理



フィールドセイバー粒剤 30g/m²

処理日：2017年4月8日
調査日：2017年7月13日（処理96日後）
試験地：福岡県大牟田市

（（公財）日本植物調節剤研究協会委託試験）

